

チエック 消防隊員の服装紹介

表紙に掲載している6人の皆さんは全て、消防署の職員です。その隊員の身に着けている服装には、初めて見るものもあるかもしれません。

消防隊員のイメージとして最初に思い浮かぶのは、銀色の防火服かもしれません。しかし、今年の9月からその銀色の防火服に代わり、枯葉色（カーキ色）のものに変わっています。

また、それ以外にも普段見慣れない服装がいくつかありますので、業務内容と合わせて紹介します。



2 救急服

救急車に乗り込み、応急処置を施す救急隊員が着ています。



1 防火服

これまで銀色の印象が強かった防火服。現在はこれを着て消火活動にあたっています。



3 救助服

事故などの救出作業時にこのオレンジ色の救助隊員が出動します。



4 活動服

いわば「消防署の普段着」。通常この服装で水利などの調査や日常業務などを行っています。



5 制服

これは消防職員の正規の服装です。(冬服)



6 耐熱防火服

これは危険物火災など高熱を発生する火災に着用します。

今始めよう 家庭での防火対策

その1 たばこ

タバコの火は700〜800℃の高温です。水をかけるなどして、確実に消えたことを確認しましょう。



その2 ストープ

カーテンや洗濯物がストーブに触れて火災になることがあります。燃えやすいものの近くでの使用はやめましょう。



その3 コンロ

電話や来客時など、調理中に台所を離れるときは、必ずコンロの火を消してから離れましょう。



その4 電気器具

コンセントのタコ足配線は、発熱の原因となります。またコンセント付近のホコリも取り除きましよう。



消火より防火、救急より日頃の体の管理を

〜実際の現場より〜

火災や事故、急病などは、いつでもどこでどのように発生するか誰にも分かりません。そのため消防署の職員は日頃から、様々なトレーニングや訓練を行っています。

しかし、同じ状況での出動はほとんどありません。時には季節や天候など、全てが消防隊員たちの活動を妨げることもあります。

「住民皆さんの生命や財産を守るのが私たち消防隊員の役目です。」

しかし、私たちは生命や財産を奪う火災や事故などを、未然に防ぐことはできません。特にこれから年末年始にかけて、火災や事故、救急などの出動が増加する時期です。

どうか住民の皆さんにも、防火や体の健康管理について、もう一度取り組んで欲しいと思います。そして共に火災や事故がない町づくりを進めて行きたいですね。」と、桂川消防署の皆さんは声を合わせます。